

都道府県名	奈良県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

上牧町立上牧第三小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	障害児学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	16
児童数	48	54	43	56	48	54	1	304	

研究の概要

1. 研究主題

<p>生きる力の育成をめざして ～ 自ら学び・自ら考える子 ～ 学力向上フロンティアのテーマ 基礎・基本の定着と個に応じた指導の工夫・改善について</p>
--

2. 研究内容と方法

(1)実施学年・教科

<p>全学年算数のドリルタイム（毎朝行い、基礎基本の習得を目指した。 3～5学年算数（児童の理解度に差が生じやすい学年・教科であるため、少人数指導を取り入れる。）</p>
--

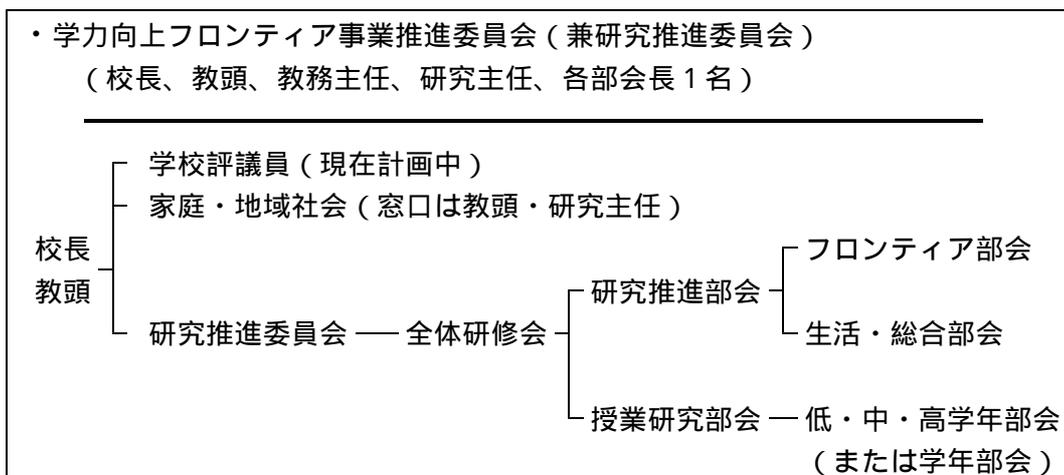
(2)年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎・基本の定着とその指導の工夫について</p> <p>仮説 読み書き計算を中心とした学習活動を設定することにより、基礎学力の定着が期待できるであろう。</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法や指導体制の工夫、改善（全校ドリルタイム、TT・少人数指導） 算数科・国語科における基礎・基本の確認（講師を招聘しての職員研修） 算数科の研究授業（6学年少人数指導）</p>
--------	--

平成 15 年 度	<p>テーマ 基礎・基本の定着と個に応じた指導の工夫・改善について</p> <p>仮説 児童一人一人のつまずきを見付け、その指導方法を工夫、改善することにより、基礎学力の定着を図ることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法や指導体制の工夫改善 (全校ドリルタイム、TT・少人数指導) 算数科における全学年の授業研究(継続した指導を受ける) 本校独自のドリルタイム用学習プリントの利用と内容の検討</p> <p>算数科における教材教具の工夫・開発 学力調査の分析による児童の実態把握と問題点の明確化</p>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 個に応じた学習の指導体制と指導方法の確立について</p> <p>仮説 全学年において個に応じた学習の指導体制や指導方法を共通認識して進めることにより、自力解決のできる児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 個に応じた指導のための指導方法や指導体制の検証 (全校ドリルタイム、TT・少人数指導) 授業の評価を生かした指導の研究(授業研究を通して) 思考力を高める指導の工夫・改善と教材開発 算数科における少人数指導の単元別計画の実施 算数科における教材教具の工夫・開発 学力調査の分析による児童の変化</p>
--------------------	--

(3) 研究推進体制



・ 平成15年度の成果及び課題

1 研究の成果

昨年度末に実施したC R T標準学力検査の結果から、表現・処理、知識・理解の力がどの学年も向上していることが分かった。しかし、数学的な考え方については、どの学年においても、学年が上がると結果が悪くなっていることが分かった。年度当初から、このことを念頭において研究を進めてきたが、成果は充分とはいいいきれない状況である。

算数科の研究授業を全学年にわたって（少人数指導は、3～5年生）実施したところ、教材や指導方法に工夫が見られ、教師の指導や支援の仕方も変わってきている。そして、授業に対する児童の意欲も高くなりつつある。

児童と保護者を対象に算数や少人数のアンケートを実施したところ、児童は少人数指導を肯定的に受けとめており、コース別の学習にも自分に合っていると感じている。このことから、児童は学習に前向きになり、やる気が起きてきていることが分かった。逆に、まだ不安感をもっている保護者も見られるので、理解が得られるようにしたい。

2 今後の課題

- * 児童の学力の伸びから、数学的な考え方を伸ばす授業を積み重ねていくこと。
- * 保護者の理解を得るための継続的な取組を続けること。
- * 授業に見合った評価の在り方とその実践を進めること。
- * 算数科の学習単元の内容と少人数指導の指導形態や指導方法の見直し。

学力等把握のための学校としての取組

定期的な学力調査・・・教研式標準学力検査C R T

(一昨年度から、年1回実施) 図書文化社

調査目的・・・観点別や領域別の傾向を明らかにする。

学力の定着度をつかむ。

実施時期・・・毎年度3学期

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 研究発表会の開催日予定

日 時 平成16年11月5日(金) 開始時刻未定

場 所 上牧第三小学校

* 本年度研修のまとめとして、研究紀要作成中

* 平成15年8月8日には、兵庫県篠山市校長会の先進校視察として訪問を受け、学力向上フロンティアスクールの取組を約3時間にわたって紹介をした。〔本校より、校長、教頭、教務主任、研究主任(フロンティアティーチャー)出席〕

* P T A 広報新聞に学力向上フロンティアスクールの記事を作成し、該当学年の保護者だけでなく、全ての保護者に理解してもらうように3学期号に掲載予定(フロンティアティーチャー作成)。

* 学校の公式ホームページはまだないが、学校教育活動を〔主に保護者向けに〕紹介している(校長個人が開いている)ホームページがある。

平成15年11月14日開催の学力向上フロンティアスクール中間発表会等についても掲載している。

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~kami3/>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無